

リサイクル推進員 News(仮)

発行：東広島市生活環境部廃棄物対策課
TEL: 082-420-0926 FAX: 082-426-3115
E-mail: hgh200926@city.higashihiroshima.lg.jp

平素から本市廃棄物行政に多大なご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

この度、情報提供という形で本市リサイクル推進員の活動を支援するため、推進員の活動状況、本市からのお知らせ等をまとめた情報紙を発行いたしました。今回は令和元年8月、12月に開催した推進員対象のワークショップ開催状況や参加者のアンケート結果を主にご紹介します。

ごみ減量啓発ワークショップ(第2回目)*

*第1回目は平成31年2月25日に開催済です。

日時：令和元年8月29日(木) 14～16時
場所：東広島市消防庁舎2階 講堂
議題：あなたも今日からグリーンコンシューマー
講師：認定NPO法人環境市民 副代表理事 しもむら 下村 しまづこ 委津子 氏
参加人数：52人

多くのご参加、
ありがとうございました!

内容：ごみの発生を減らす「リデュース」に着目し、買物をする時にできるだけ環境に配慮した製品を選ぶことによって、社会を変えていこうとする消費者のことを指す「グリーンコンシューマー」について、実際に製品サンプルを手に取りながら製品を選ぶ買物ワークショップ等を通じて学びました。

～ワークショップの様子～



写真左：講義中の風景です。
写真右上：買物ワークショップで使った製品の一部。
写真右下：グループ毎で話し合った結果の発表中。

ごみ減量啓発ワークショップ【第3回目】

日 時：令和元年12月9日（月）14～16時

場 所：東広島市消防庁舎2階 講堂

議 題：ごみ減量の地域活動 全国の先進活動事例

講 師：認定NPO法人環境市民 代表理事 ^{すきもと} 萩本 ^{いくお} 育生 氏
京都市ごみ減量推進会議 ^{ほり} 堀 ^{たかひろ} 孝弘 氏

参加人数：38人

内 容：全国の先進的な活動事例として、ペットボトルごみを減らすことを目的としたリーフ茶（茶葉から入れた緑茶）普及の取組やエコクッキング講座・エコレシピコンテスト等のフードロス削減に向けた取組、祇園祭ごみゼロ大作戦等を紹介してもらい、自分たちの地域ではどういう取組が行えるかを数人のグループ毎で話し合ってもらいました。

講師・補助者の
計3名の方々に
お越しいただきました。

～ワークショップの様子～



写真左：話し合いが円滑に行えるよう、第2回の際の講師下村氏が各グループを回っています。
写真右：話し合った結果の発表です。

ワークショップのご意見・ご感想

第2回目の感想としては、「買物ワークショップがわかり易く、ためになった」「無駄な買物をしないようにしたい」「これからもエコについて考えていきたい」等、改めてごみ問題について考えさせられたというご意見が多くみられました。また、「ごみ減量について、具体的な取り組み事例を知りたい」という声も寄せられました。

他市町の先進事例を紹介した第3回目については「いい勉強になった」というご意見もありましたが、「京都等大都市と自分が住んでいる地域では状況が違うため、もっと身近な事例を知りたい」「他地域のリサイクル推進員ともっと話す時間が欲しい」等、より地域に根差した意見交換や活動事例を知りたいというご感想をいただきました。

次年度以降、この事業を進める上で貴重なご意見・ご感想をいただき大変ありがとうございます。これらのご意見を踏まえて、市もごみ減量をより推進・啓発していきたいと思っております。

ワークショップのアンケート結果をご報告します

※アンケート数: 46 件

第 2 回目



問 1 今回のワークショップの感想を教えてください

1 参考になった	83%
2 いまいちよくわからなかった	13%
3 参考にならなかった	0%
4 無回答	4%

問 2 今回のワークショップで学ばれたことを、地域で実践しようと思われますか？

1 今回新たに実践しようと思う	83%
2 すでに実践しているものがあり、新しい取り組みは見送ろうと思う	0%
3 現在実践しているものはないし、新しく実践するつもりもない	13%
4 無回答	4%

●新たに取り組みたい具体例

グリーンコンシューマーに関すること、地域での勉強会 など

●すでに実践済の取組事例

資源回収、生ごみ処理機利用、エコバッグ使用 など

●取り組みを行わない理由

地域（各家庭）で実践、勧めるには自分の知識不足も有り難しい など

※アンケート数: 34 件

第 3 回目

問 1 今回のワークショップの感想を教えてください

1 参考になった	82%
2 いまいちよくわからなかった	12%
3 参考にならなかった	3%
4 無回答	3%



問 2 平成 30 年度から合計 3 回行ったワークショップについてお伺いします。

【Q1】今まで開催したワークショップの参加状況を教えてください。

1 第 1 回目から全て（3 回）参加している	47%
2 2 回参加している	47%
3 今回の参加が初めて	6%

【Q2】Q1 で、1 もしくは 2 と回答した方にお伺いします。今までワークショップに参加されて、お気づきになったこと、お考えになられたことなどを教えてください。

- ・特にリデュースについて参考になった。
- ・他地域で活動されていることを発表された。参考になる。
- ・参加者との意見交換の時間がもう少しあればよい。 など

※自由意見については前頁の「ワークショップのご意見・ご感想」で一部をご紹介します。
スペースの関係上、すべてのご意見をご紹介します申し訳ありません。

ご存じですか？東広島市のごみ事情

ワークショップでのご意見の中で、「東広島市のごみ事情を知りたい」という声をいくつかいただきました。こちらでは、東広島市のごみに焦点を当てたデータをご紹介します。

ごみ排出量の推移

東広島市では、毎年約 65,000 t ものごみが排出されています。これは、ごみ収集車（2 t 積）の台数 30,000 台以上もの量になります。年度別の排出量の推移は、次のとおりです。

（単位：t）

●年度別のごみ排出量

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
家庭系	40,047	40,356	39,430	40,110	40,538
事業系	27,129	27,738	26,536	26,550	26,842
合計（A）	67,176	68,094	65,966	66,660	67,380
A-資源回収等量*	64,751	65,710	63,695	64,452	65,259

*資源回収等…家庭から排出されるごみのうち、ごみとして排出される前に自主的に資源を回収しリサイクルしたもの

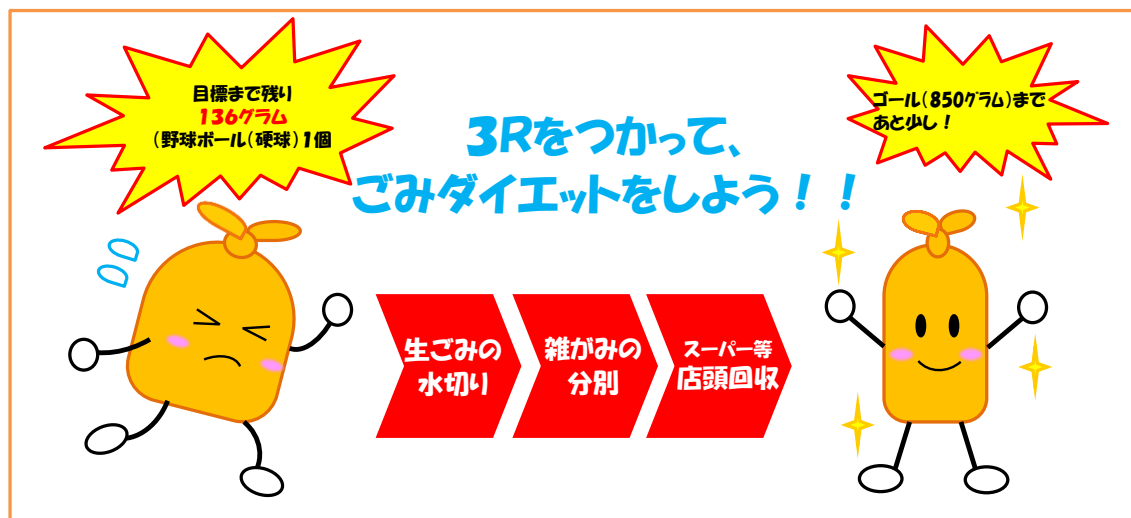
上の数値を市民 1 人 1 日あたりとすると、次の表のとおりになります。（単位：g）

●市民 1 人 1 日あたりのごみ排出量の推移

	H26 年度	H27 年度	H28 年度	H29 年度	H30 年度
環境省実態調査値 （H30 年度は速報値）	999	1,005	974	980	986
資源回収量等除外値	963	970	940	953	955

平成 30 年度は前年度と比較して、6 g 増加しています。平成 29 年度環境省実態調査によると、全国平均が 920 g、広島県平均が 891 g ですので、まだまだ減量の余地は残されていると言えます。

東広島市では、令和 3 年度までに市民 1 人 1 日あたりのごみ排出量を **850g** まで減らすことを目標にしています。目標まであと 136 g、およそ野球ボール（硬球）1 個分の重さです。決して不可能な数字ではありません。みなさんのご協力をお願いします。



●編集後記●

今回は「お試し」の第 1 号として発行いたしました。今後より一層皆様の活動に役立つ情報を発信できるよう努めたいと思いますので、引き続きごみの減量化・資源化にご理解、ご協力のほど、よろしくお願いいたします。この情報紙（名前を募集中です！）への感想、ご意見もぜひお聞かせください。